

ベヨネース列岩（明神礁）の火山活動解説資料（平成 29 年 3 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

3月24日及び25日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、明神礁付近で変色水が確認されました。

今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、24日15時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。周辺海域では噴火に警戒してください。

活動概況

3月24日に海上保安庁が実施した上空からの観測によると、明神礁（東京の南約400km、青ヶ島の南南東約65km）付近で、薄い黄緑色の変色水（直径約30m）が確認されました（図1左）。

また、25日に同庁が再び実施した上空からの観測によると、明神礁付近で、黄緑色の変色水（直径約200～300m）が確認されました（図1右）。変色水は12時20分に確認され、約1時間後にほぼ消失しました。両日とも浮遊物は確認されていません。変色水が確認されたのは海上自衛隊による1988年の観測以来です。

変色水は火山活動の活発化を示していると考えられ、今後、小規模な海底噴火が発生する可能性があるため、24日15時00分に噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表しました。周辺海域では噴火に警戒してください。

なお、海上保安庁が観測データを精査したところ、3月14日にも明神礁に直径50mのごく薄い青白色の変色水を確認しました。

明神礁では、1952年から1953年にかけて大規模な火山活動が発生し、新島が形成されました（その後消滅）。1952年9月24日の噴火で調査中の船舶が遭難しています。その後、1954年、1955年、1960年、1970年にも噴火が確認されています。



3月24日11時50分撮影（高度約1000m）
（観測時間 11時44分～11時58分）



3月25日12時28分撮影（高度約150m）
（観測時間 11時02分～14時10分）

図1 明神礁付近の変色水（点線楕円内）

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平26情使、第578号）。



図2 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、及びベヨネース列岩の位置図
ベヨネース列岩は、東京の南約 400km、青ヶ島の南南東約 65km に位置します。

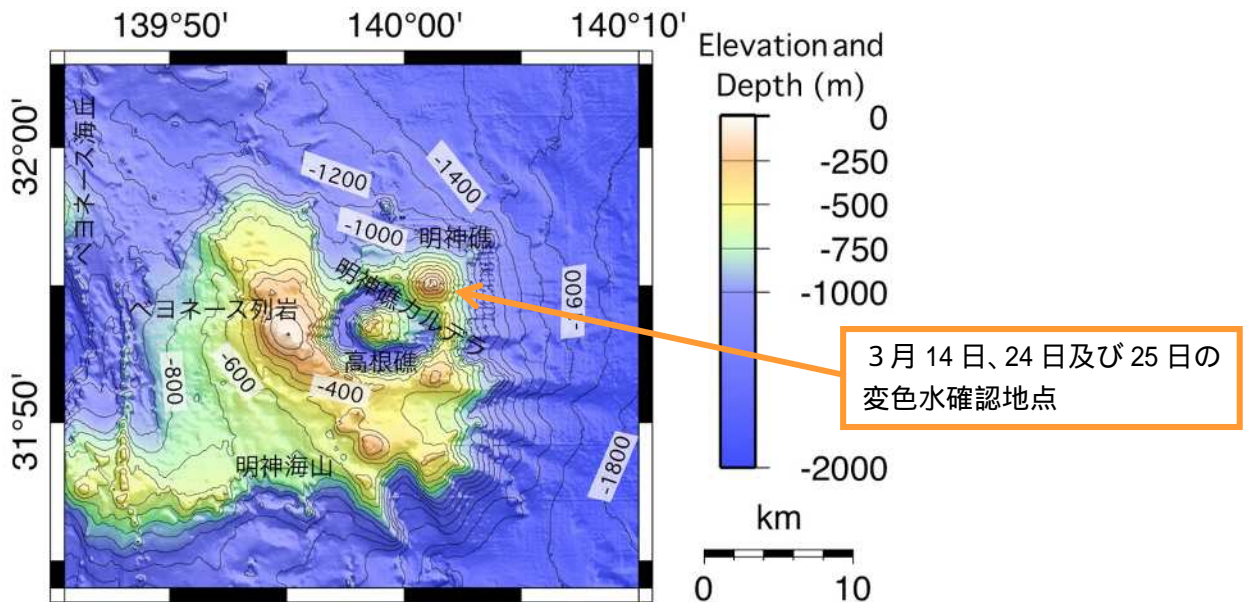


図3 ベヨネース列岩付近の海底地形図と変色水確認地点 ()
この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。
明神礁の最浅部は水深 50m、北緯 31 度 55.1 分、東経 140 度 01.3 分です。
(日本周辺海域火山通覧(第4版)(海上保安庁, 2012)に加筆)